

九州地区の8年4月住宅着工戸数

前年同月比0.2%減の5,047戸、宮崎県は44.8%増

国土交通省がまとめた令和8年4月の住宅着工統計によると、九州地区の住宅着工戸数は前年同月比0.2%減の5,047戸で、床面積は同1.4%増となっている。県別の住宅着工戸数は前年同月比で福岡県が20.5%増、佐賀県が9.8%増、長崎県が22.9%減、熊本県が29.3%減、大分県が10.6%減、宮崎県が44.8%増、鹿児島県が16.9%減となっている。

新設住宅着工戸数(令和8年4月、令和7年4月)

都道府県	戸数・件数(戸・件)			床面積の合計(m ²)		
	令和8年4月	令和7年4月	前年対比(%)	令和8年4月	令和7年4月	前年対比(%)
福岡	2,436	2,022	120.5	193,641	164,125	118.0
佐賀	279	254	109.8	24,078	21,801	110.4
長崎	262	340	77.1	22,585	24,130	93.6
熊本	803	1,135	70.7	64,018	82,142	77.9
大分	362	405	89.4	29,186	32,587	89.6
宮崎	365	252	144.8	29,252	22,881	127.8
鹿児島	540	650	83.1	39,270	48,775	80.5
九州地区計	5,047	5,058	99.8	402,030	396,441	101.4
沖縄	901	1,034	87.1	59,947	81,155	73.9
山口	391	570	68.6	32,689	47,217	69.2
全国計	62,569	56,188	111.4	4,735,263	4,176,752	113.4